



市長との約束 2017

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

民生部長

佐々木 雅一

| 約束内容 | 地域包括ケアシステムの推進 |
|----------|--|
| 達成目標 | 地域支援コーディネーターとともに、支え合いの地域づくりを行う「生活支援体制整備事業」の実施団体を、平成29年度中に10団体とします。 |
| 達成度 | B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆ |
| 達成状況 | 医師会の在宅医療の取組や、医療従事者と介護従事者の顔の見える関係性、医療及び介護の看護職同士の連携など、次につながる下地作りはすすみましたが、まだ表立った成果とはなっていません。また、地域で行う生活支援体制整備も5団体と際立った広がりにつなげられませんでした。 |
| 今後の課題解決策 | 今年度取り組んできた下地作りを生かし、次年度は在宅医療に取り組む医師数の拡大、生活支援体制整備に取り組む地域数の拡大に特に力を入れていく必要があります。 |

| 約束内容 | 各種計画の策定 |
|----------|---|
| 達成目標 | 平成30年度から新たにスタートする計画「障害者計画・障害福祉計画」「障害児福祉計画」「高齢者福祉計画」「介護保険事業計画」「国民健康保険事業計画」「国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実施計画」について、平成29年度中に策定します。 |
| 達成度 | A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★★★ |
| 達成状況 | 障害者計画、高齢者福祉計画については、医療的ケア児の問題、手話言語条例の請願への対応、鳴子温泉・岩出山地域を優先した事業者参入の促進など、市民・議会からの要望に対応したほか、介護保険料を据え置くなど、市民の納得のいただける内容の計画として、3月中に策定できる予定です。 国保関係の計画については、新国保制度移行準備に時間を要したこと、国からの策定手続きの通知が秋になったことから、5月の国保運営協議会に計画案を提示する予定です。 |
| 今後の課題解決策 | 計画を具現化するための事務事業の着実な実施。 特養の施設サービスなど、計画どおりに進まない場合の代替え策を常に検討しておく必要があります。 |

| 約束内容 | 子育て支援拠点施設建設 |
|--------------|---|
| 達成目標 | 古川中央児童館と子育てわくわくランドを合築した子育て支援拠点施設について、平成31年度の完成を目指し、平成29年度中は実施設計までを完了します。 |
| 達成度 | A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆ |
| 達成状況 | 年度内に実施設計が完了する予定です。 |
| 今後の課題 解決策 | 児童館と子育て支援センターの機能を併せ持つ施設となることから、開設までに、乳幼児の安全配慮などの課題整理を行い、運営管理方法について検討を行う必要があります。 |

| 約束内容 | 救急医療体制の確保 |
|--------------|--|
| 達成目標 | 市民に対し適正受診の啓発を行い、夜間救急センターの安定運営を図ります。 |
| 達成度 | A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆ |
| 達成状況 | 休診となっていた月曜・水曜の外科について、東北大学病院から医師の派遣が決定し、4月から診療可能となりました。 小児救急電話相談のシールを母子手帳に貼るなど、利用者啓発活動を行いました。 |
| 今後の課題 解決策 | 夜間急患センターは、常に医師不足に悩まされています。現在は医師会などの協力により何とか休診せずに運営しているが、医師の高齢化が進むことを考えれば、根本的な解決策を早急に検討する必要があります。 |